



よつばの手紙

特集
つながる・ひろがる・地域の輪

目次

- ・特集
- ・つながる・ひろがる・地域の輪
- ・相談窓口の案内
- ・行ってきました
- ・市内企業レポート
- ・さんかく図書室
- ・現場の芽
- ・おうめの散歩道
- ・人のわ

PTA行事でのドラム缶ピザ作り

特集

つながる・ひろがる・ 地域の輪

地域にとって、なくてはならない活動力あふれる会が小曾木地区（黒沢・小曾木・富岡）にあります。名前は「おやじの会」。ゴロもよく泥臭いメンバーが集まっているのが命名の理由です。

6年ほど前、地域の子どもたちが通う青梅第七小学校の当時の校長先生の声かけで、学校行事のお手伝いの会として誕生しました。

P T AのOBを含め会員は26人。今では学校行事にとどまらず、地域活動の大きな柱の一つとなり、人間関係が希薄になったといわれるなかで率先して地域と関わるおやじたちの姿は、子どもたちばかりではなく、地域の人たちにも大きな存在となっています。

活動の様子を、「おやじの会」会長の^{みつ はし やす ゆき}三ツ橋康之さんと、会員で「おそきの学校と地域を考える会」の^{わかばやし よし ひろ}副会長でもある若林良弘さんに伺いました。



写真左：若林良弘さん 右：三ツ橋康之さん

キャッチフレーズは
出来る人が、出来る時に

おやじの会は、発足して6年目、「ゆるやかな活動」が基本です。

会の発足は、青梅第七小学校の当時の校長先生が、当時のP T A会長に、学校行事や地域行事の手伝いができる仲間集めを打診したところから始まりました。それを受け入れる

素地があったので、じゃあやりましょう、出来る人が集まってく下さい、中学生の親御さんもいいですよという調子で話が進んでいきました。会長は、私で三代目です。

小学校の屋上にあるヘリサインのペンキ塗りをしたのが、おやじの会として最初の活動でしたね。

メンバーは小学校に在籍している子どもの親が中心ですが、すでに卒業した親たちも参加していて、総勢26人です。女性ももちろん、ご夫婦で入会されている方もいますよ。お子さんがいらっしやなくても入会できます。

仲が良くて、話が合う

活動があるときは、仲間内で手伝える人が、その日に集まって、楽しくやろうという感じですよ。

その場であれこれ意見を出し合いながら進めます。年齢に関係なく仲がいいですね。ほとんどが地元ですが、引越して来た人もしつかりなっています。活動はボランティアです。皆さんのお役に立つことができるし、作業が終われば「一緒に飲める」という関係が一番いいと思っています。

たとえば、運動会の万国旗を設置するというお手伝いが学校からP T Aを通して依頼されると、おやじの会の会長から一斉メールを送り、集

まれる人がやって来て、作業をする。それが終わればお疲れ様（慰労会）となるのです。PTA行事の「ふれあい広場」でのドラム缶ビザ作り、他団体との行事の手伝いがメインの活動となっています。

ウサギ小屋の改修、校舎内の壁塗り、校庭の遊具のペンキ塗りをした時には子どもたちも一緒に参加して興味を持ってくれたことが嬉しかったですね。

親睦が深まります

会に入って、同じような年齢層で話ができるので、良かったなあと感じています。また、違う地域の人たちとも顔見知りになりました。



三ツ橋康之さん

メンバーの参加率は80%ぐらいでしょうか。会員募集は常時で、行事の時にはできるだけ声をかけるように心掛けています。もう少し人数を増やしたいですね。せめて小学生（在校生）の親御さんには出て来てほしいなあという思いがあります。

今のメンバーは皆泥臭いので「お父さんの会」ではなく、やはりおやじの会です。ゴロもいいですからね。総会と称してのバーベキュー会もありますよ。家族も参加しますが、おやじメンバーが中心になっています。自分自身が楽しいことが、長続きの秘訣です。

地域の活動の力となって

私たちの地域にある、自治会の人たちも参加する「おそきの学校と地域を考える会」を中心に、女性たちが立ち上げた「小曾木っ子の会」、そして私たち「おやじの会」等の団体で協力して、いろいろなイベントもやっています。

地域の学校の児童・生徒数を増やすために、学校を考えるということから始まりましたが、学校だけを考えるのではなく、広く地域をも巻き

込んで、子育て世代に来てほしいとの思いで活動しています。

子どもたちに楽しんでもらうためにやっているのですが、子どもたちが一緒だと多くの人が集まり、盛り上がります。



3団体共催で実施した
小曾木っ子おもちつき

実際に、おやじの会が起点になっている場面、頼られる場面が多くなっていることは感じますね。活動力のあるおやじの会がすぐに動くことができ、その存在感は大きいと思っています。

大変じゃないです

だれかがやらないと会が成り立たないという気持ちがあります。土・日・休日の活動が中心になるので、仕事が休みの人に率先して出てもらうようお願いしています。

今年のイベントには、初めて川魚の塩焼きを出したのですが、仕事がない日のほとんどを魚釣りにあてて、当日までに160匹ぐらい用意しました。

その日は炭火の前で7、8人のメンバーが夢中で魚を串に刺して焼きました。お昼も食べられないほどでしたが、本当に皆さんに喜んでいただけたので、来年もやろうかななんて思っていました。子どもたちが喜んで食べる様子を見たら、おやじの会をやめられなくなりましたね。

小曾木っ子の会とおやじの会が存在し、それぞれがお互いに良い影響を与え、相乗効果が出ているので、イベントは年々盛り上がっています。

休日が一番忙しい

仕事やおやじの会の活動で、夜に家を空けることがあるので、家にいる時は、洗い物や風呂そうじなどの家事をできるだけやるようにしています。まだ子どもが小さいので大変だと思いますが、妻には気持ち良く送り出してもらっています。実はそのために家事を手伝っているというところもあるのです。

子どもと遊んでいる時が一番楽しいです。休日や、仕事から早く帰れた日には、キャッチボールなどを一緒にします。子どもと関われるのは今しかないですからね。

息子が参加している野球チームのコーチを引き受けていますし、私自身もビーチバレーをしていたり、休日は忙しいのですが、ワーク・ライフのバランスはいいと思っています。

他人の子どもを叱ったり注意することは難しいと思われがちですが、おやじの会や野球のコーチをして、子どもたちに顔を覚えてもらっているのも、こちらから声をかけ、叱ったりもします。子どもたちから大きな声で名前を呼んでくれます。

伝えたいメッセージ

最近、挨拶のできない子が増えているように感じます。自然に挨拶ができるようになればと、私たちの方から子どもたちに挨拶をしています。おやじの会は、お手伝いをして人の役に立つということが基本にあるので、その姿を子どもたちが見ていてくれたらいいですね。子どもたち



若林良弘さん

にも、将来は人の役に立つ活動をしてほしいと思っています。
男の子には少し厳しくすることはありますが、子どもたちと接していて、男女差を意識したこともなく、ましてや男女で差別するということはありません。
私たちの会は、本当にゆるやかな活動なので、きちんとした計画はないし、将来の夢なんて、今まで考えもしませんでした。でもゆるやかで、入りやすい団体だからこそ、これからも続いていけると思っています。地域を大切にして、子どもたちが良い方向に伸びていく（成長する）ことを見守り、応援したいです。これが、世の中のおやじさんたちに伝えたいメッセージでしょうか。

相談窓口の案内

公的支援機関の相談窓口をご利用ください。

相 談 先		内 容
女性の相談	東京ウィメンズプラザ TEL03-5467-2455 毎日 9:00～21:00（年末年始は休み）	女性の総合相談 ドメスティック・バイオレンス、夫婦・親子の問題、生き方や職場の人間関係など （就職活動の支援は行っておりません）
	東京都女性相談センター 多摩支所 TEL042-522-4232 月～金曜日 9:00～16:00（土・日曜日、祝日、年末年始は休み）	
	青梅市役所 TEL0428-22-1111 月～金曜日 8:30～17:00（土・日曜日、祝日、年末年始は休み）	
	青梅警察署 TEL0428-22-0110 緊急の場合 110番通報	
女性の就職	マザーズハローワーク立川 TEL042-529-7465 月～金曜日 9:00～16:00（土・日曜日、祝日は休み）	専属の担当相談員による女性の就職活動全般の相談（キッズスペース等併設）
子育て支援	青梅市子ども家庭支援センター TEL0428-24-2126 月～金曜日 8:30～17:00（土・日曜日、祝日、年末年始は休み）	子どもと家庭に関するあらゆる相談
	青梅市子育て支援センター TEL0428-31-1318 毎日 9:00～17:00（第2月曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始は休み）	親子で自由に遊べる場、子育て支援情報の提供など
	青梅市ファミリー・サポート・センター TEL0428-23-3888 受付：月～金曜日 8:30～17:00（土・日曜日、祝日、年末年始は休み）	子どもの保育園などへの送迎や預りを一時的にお手伝い
男性のための悩み相談 東京ウィメンズプラザ TEL03-3400-5313 電話相談 月・水曜日 17:00～20:00（祝日、年末年始は休み） 夫婦や親子の問題、生き方・職場の人間関係、セクシャルハラスメントやDV、デートDVなどの暴力の問題など、男性の抱えるさまざまな悩みに男性相談専門の相談員が対応		

市では、子育て支援情報に特化したホームページ「おうめ子育てねっと」(<http://ome-kosodate.net/>)を開設しています。

子育てひろば	0歳から就学前の子どもと親がのびのびと遊べる場として、子育て支援センターや永山ふれあいセンター、青梅子ども未来館、保育園などで実施しています。実施日時など詳細については、青梅市ホームページ (https://www.city.ome.tokyo.jp/) や広報おうめをご覧ください。 青梅市子ども家庭支援課 TEL0428-22-1111 内線2398
--------	--

行ってきました

☆民生委員・児童委員☆

遠藤和子さん

原嶋曜子さん

児島勢津子さん



(左から) 原嶋曜子さん 遠藤和子さん 児島勢津子さん

社会福祉の増進のために、地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行い、地域の福祉を担う民生委員・児童委員をご紹介します。民生委員は、厚生労働大臣から委嘱される非常勤の地方公務員で、任期は1期3年、児童委員を兼ねています。青梅市では、147人(4月1日現在男性66人・女性81人)の民生委員・児童委員が活動しています。

日々の活動としては、一人暮らしの高齢者や障害のある方などの見守り・安否確認、敬老会やバス旅行への同行、新生児がいるお宅を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」などに取り組んでいます。また、子どもたちの朝の見守りや防災訓練への参加など、地域の安全にも気を配ります。

民生委員・児童委員は、年6回の定例会の他、地区会、部会などを開催して、地域の課題に関する話し合いや、テーマ別の勉強会を行っています。また、地域の身近な相談役であると同時に、「市と市民とのパイプ役」として関係機関へのつなぎ役を担っています。自治会との連携も不可欠です。

ただし、できると思っても一人で対応せず、地区内の他の委員と協力し、気づきを市につなげて指示を仰ぐといった心がけが大切です。受けた相談内容については、守秘義務があるため、たとえ家族であっても話すことはできません。

自らもその地区に暮らす住民であるという強みを生かして、顔の見える関係のなかで、その人その人の実情に応じた支援をすることができす。早朝や夜中に連絡を受け、かけたところ、熱中症になりかけていたため救助したこともあるそうです。

民生委員・児童委員が抱える課題は、地区によってさまざまです。高齢化が進む地域では、見守り体制が追いつかないといった現状がある一方で、地区内にある新興住宅地では新しい人を把握しきれないといった悩みを抱えています。

人それぞれに異なる考え方や生き方などに想いをめぐらすこと、根気強くコンタクトを取ることで、ドアを開けることさえ拒否していた人や民生委員・児童委員の存在自体を知らなかった人の心をほぐし、理解してもらうことがやりがいでもあります。目指すのは、気軽に相談できるという雰囲気づくりです。

「玄関を出る時、鏡で自分の笑顔を確認してから行くんです。今日の私、この顔で大丈夫かな、と。笑顔だと、声も自然と明るくなります」また、人の力になるためには、まずは自分たちが健康で、自分たちの

生活をキープしたうえで、関わることが大事です。

地域に根ざした民生委員・児童委員として、生活することの知識や支援を伝え、ごく当たり前のこととして助けたり、助けてもらったりできる関係が育まれていくことを願っています。心強い地域の「つなぎ役」に、気軽に声をかけてみてください。

問い合わせ…青梅市福祉総務課
☎22-1111 内線2651

子育てひろば

のご紹介



子育てひろばをご存じですか。

保護者と就学前のお子さんが一緒に遊びながら、同じ子育て期にある他の保護者と情報交換や交流を図ることができる場が子育てひろばです。

子育て支援センターや永山ふれあいセンター、青梅こども未来館、保育園などで実施しています。ひろばには保育士等がいますので、子育てに関する相談が気軽にできます。利用料はかかりません。

実施日時は、施設によって異なりますので、青梅市ホームページや広報うめで確認をしてください。

問い合わせ…青梅市子ども家庭支援課
☎22-1111 内線2398

市内企業 レポート

～設計から完成品まで、確かな技術で貢献します～

株式会社オーディーケーの尾高弘和社長に自社で取り組まれている活動についてお話を伺いました。



株式会社オーディーケー
代表取締役社長 おだか ひろかず 尾高 弘和さん

事業内容

主に各種金属の板金加工やパイプ曲げ加工などを行っています。多種多様な大小の機械設備を取り揃えており、さまざまな加工の依頼に応えていけるようにしています。また、工程統合機（複合機）によるキズの少ない製品づくりを心掛けています。とくにパイプ曲げ加工と溶接技術については、自社の得意分野で他社よりも優れていると感じています。

弊社では、多品種少量生産、短納期対応、試作、設計などと柔軟に対応でき、パイプベンダーを使用したコストダウンも提案しています。

会社での取り組み

溶接技術にあたっては、男性がほとんど行っているイメージがあると思いますが、弊社では第一線で溶接作業を行っている女性職員がいます。溶接は作業者本人の手作業が重要になり、製品の出来にも影響します。手先も器用な女性が経験を積んできたことで、第一線で活躍する人材となっています。これから女性が生き生き



と活躍できる場を設けようと思っています。

未来にある製造業の可能性を求めて

価値観の変化と多様化するニーズのなかで、いかにしてお客様の満足度と信頼度を高めてゆくことができるか、私たちにとって大きな課題であり、原動力となっています。常に進歩するお客様の要求に対して、柔軟に対応し挑戦させていただくことにより、弊社も成長させていただいていると考えています。「その先の未来」のため、「現在」に取り組み、その先を見つめています。

今後について

これからは男性職員、女性職員ともに技術力の向上を図りながら切磋琢磨し、お客様の満足度と信頼度をさらに高めて、新規顧客を増やし、会社を成長させていきたいと思っています。また、お客様へのコストダウンの提案も行って、お互いにWin-Winの関係を築いていきたいと思っています。

株式会社オーディーケー（今井3丁目）
設立 1976（昭和51）年6月
従業員数 30人（男性24人／女性6人）
各種金属板金・加工・パイプ加工
<http://www.odkss.com/>

フランス父親事情

浅野素女 著
築地書館



さんかく図書室

婚姻関係を前提として子どもが産まれていた時代、父親と子どもの多くは遺伝子間での繋がりがあった。しかし、現代のフランスでは婚姻をしないカップル間での出産が多く、また、結婚したカップルの2組に1組は離婚をするといった社会状況において、血のつながりがある父、再婚相手の連れ子と養子縁組を行う法律上の父、人工授精による子どもの父など、父親と子の関係も多岐にわたる。

「父親ってなに？」それは、この本の大きなテーマだ。

父親として役割をもつこと、父親が積極的に子育てに関わっていくことが重要だという作者の主張が込められた一冊。

…フランスでは、合計特殊出生率回復の背景として、出産・育児に関連するさまざまな休業・休暇制度、保育サービスの充実、手厚い手当給付など、女性の仕事と家庭の両立に向けた子育て支援政策が進められてきた。

青梅市中央図書館で所蔵しています。Tel 0428-22-6543

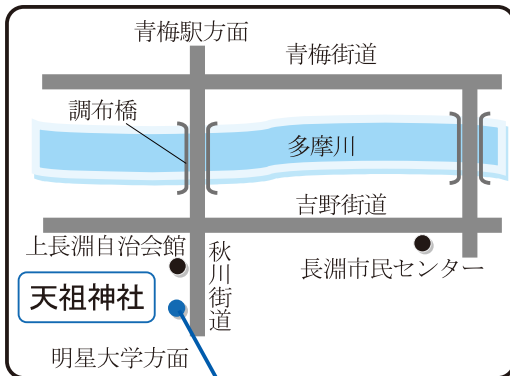
おうちの散歩道

長淵山ハイキングコース

秋川街道で青梅市街から明星大学方向に向かう途中に天祖神社という神社があります。ここを起点にハイキングコースが始まります。

鳥居をくぐり、天祖神社までの急な階段を上ると青梅の市街を眺めることができます。

神社を過ぎて一歩道に入ると、景色は一変し、なだらかな森のなかの散歩道が続きます。道には、所々にベンチがあり、鳥のさえずりに耳を傾けながら休憩をとることができます。日常の喧騒から離れ、のんびりと散歩をするのにおすすめです。



また、和田町二丁目の稲荷神社までハイキングコースは続いていますので、これからの紅葉の季節、靴などの準備を整えて、家族でハイキングにお出かけしてみませんか。

現場の芽

社会教育課では、家庭教育に関する理解を深めることを目的として、年に3回程度、家庭教育講演会を開催しています。講演会は、子どもの現状・課題を知り、家庭での生活習慣などを身につけさせるにはどうしたらよいか、保護者が考えるきっかけになるようにと、毎回さまざまなテーマを設定しています。

テーマを考える時には、学力や食育、親子のコミュニケーションなど、その時々で注目されている話題に着目して取り上げています。

なかでも特に人気があるテーマは学力です。参加者からは、「子どもが家で宿題をしない」「成績が伸びない」といった話をよく聞きます。どのように子どもの学習意欲を向上させていけばよいのか、講師は解決策の糸口を紹介します。

また、育児ストレスからの対処方法も人気のテーマです。育児ストレスがたまり、イライラして子どもを傷つけてしまうのではないかといった不安感から、講演会に参加する人もいます。

講師によっては、グループワークを取り入れる場合もあります。グループワークには、子育て中という同じ境遇の人たちの話を聞き、自分の話をする事で新たな気づきや共

感が生まれやすいといった効果があります。悩みをもった人も、悩みを共有することで、心が軽くなり、グループワーク中に笑顔が見られるようになります。盛り上がり、話で脱線することもあります。そこでさらに笑顔が増えます。脱線した話だと思っても、しっかりと本題につながっていきます。講演会の後には、「自分の話を聞いてもらえてうれしかった」「いろいろな方の意見を聞くことができて再発見があった」といった声を聞くことができます。次の講演会に向けたステップになります。

講演会は、主に週末に開催しており、広報などで広く参加を呼び掛けています。参加者の多くは母親ですが、なかには両親で参加される人もいます。ほとんどの男性が「妻に誘われて参加した」といいますが、家族で協力して子育てすることの大切さを知る機会ですので、今後さらに多くの父親にも参加していただきたいと思っています。

「子育てに正解はない」という講師の話のとおり、家庭教育講演会が新たな気づきや悩みを解決する一助になればと願っています。

問い合わせ…青梅市社会教育課
22-1111 内線2383

人のわ

むらの きみかず
村野 公一さん (54歳) (天ヶ瀬町在住)
NPO 青梅まちづくりネットワーク代表理事

青 梅に関するさまざまな情報を発信し、青梅ファンを増やしていこうというNPO「青梅まちづくりネットワーク」を設立して6年ほどが経ちました。「知られざる青梅の魅力を訪ね歩く」というキャッチフレーズで、NPO設立当初から開催している「青梅うんちく散歩」は、いまや大好評の看板企画です。

うんちく散歩では地域のお店で食事をしますが、その席では参加者の皆さまにお願いをします。「今日見てきたところで面白いと思うものがあつたら、ぜひそれを誰かに話してください」と。その話を聞いた人に、実際にそこに出かけていってもらいたいのです。

楽しく青梅自慢をする人が増えると、青梅を気にする人が増える。そして、人が動く。人が動けば、新しいネットワークができ、何かが生まれていく。そうすれば、青梅がもっと元気に、楽しくなるはず、と考えています。

コミが中心ですので、一度に話ができる相手はせいぜい20〜30人。でも、その人たちが青梅ファンになり、青梅自慢をしてくださるようになったら。そうし

た動きはきつと、どこかのタイミングでググッと伸びていくのではないかと思います。

地域での活動を続けてきて、いよいよ確信しています。青梅は面白いことが実にたくさんある町です。うんちく散歩を始め、講演会、寄席、音楽会などは今後も開いていきますので、機会がありましたらのぞいてみてください。

青梅まちづくりネットワークHP
<http://ome-machi.net/>



村野さんが青梅で開いた寄席にて
(左) 村野さん (中央) 講談師・田辺凌鶴さん
(右) 噺家・春風亭ぴっかり☆さん

よつばの手紙は「青梅市男女平等推進計画」にもとづき、男女平等参画社会の実現を目指し、編集・発行しております。

みなさんのご意見・

ご感想をお寄せください

よつばの手紙 第13号

発行日 2015年9月
発行 青梅市企画部企画政策課
電話 0428-22-1111

編集 男女平等情報紙編集委員会
編集委員 三輪 寛子 福島恵美子
岩波 直樹 佐藤 裕子
川崎 茜

〈編集後記〉

- 夏休みにプラネタリウムを見学し、街の灯りをすべて消すと見えてくる満天の星の下で、のんびりとした時間を過ごしてきました。ほんの少しだけドリフレッシュできたように感じます。(み)
- 少子高齢化が進み、子どもや高齢者をとりまく、さまざまな事件や問題を耳にするたびに、「おやじの会」のような地域の人たちをつなぐ担い手の必要性を感じます。(ふ)
- 男性、女性を問わず、それぞれの特性を活かして仕事をする中で、お互いに成長していることを感じました。(い)
- おうめの散歩道を通して、まだまだ知らない地元の魅力を毎回体感することができてうれしいです。(さ)
- 1人でも多くの人に青梅の魅力を伝え続ける強さに出会いました。夢をもち、目標をもち続ける人は輝いています。(か)

